

令和元年9～10月

講習会・セミナーのご案内 一般財団法人日本建築センター・一般財団法人ベターリビング

入門編

応用編

法令解説

技術指針

実験演習

改良地盤

「改訂—2018年版建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針—セメント系固化材を用いた深層・浅層混合処理工法—」講習会

昨年11月に改訂発行した「2018年版建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」の解説講習会です。今回は設計に関する講義時間を拡充し、全体プログラムを見直しました。

■「2018年版建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」の発行と講習会の開催

本指針（2018年版）は、旧版に2009年のQ&A集の内容を盛り込むとともに、震災に伴い強化された住宅性能表示制度や耐震改修促進法及び建築基準法の改正、2015年版建築物の構造関係技術基準解説書、更に日本建築学会等の関連指針の発刊等を鑑み、指針内容の改定、技術的観点等を追加し、昨年11月に改訂版として発刊されました。

発刊に伴い、昨年度は「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」をテキストとして、執筆者から直接詳細に解説する講習会を東京、名古屋、大阪で開催致しました。今回は、開催のご要望を頂いた仙台、福岡を開催地に加え、講習時間も拡大し実施することと致しました。

建築物の設計、施工等の関連業務に携わる方々におかれましては、是非ご受講いただけますようお願い致します。

*基本的な内容は、前回と同様となっております。また、昨年度講習会での質問と回答を配布予定です。

(続き)

- ◆3. 建築基準法第6条の四号建築物（木造2階建て以下の住宅等）の地盤改良工法のために実施されるスウェーデン式サウンディング試験の利用を図るための内容や、地盤の液状化現象の発生予測の検討方法及びその対策上の考え方など、追加的な記述を行いました。また、Q&A集成果を踏まえ指針の充実を行いました。
- ◆4. 耐震設計に関する部分では、戸建て住宅での地盤の液状化判定についての最近の成果の取り組みや新しい対策工法（格子状地盤改良工法など）による設計方法についても追記しました。
- ◆5. 深層混合処理工法については、戸建て住宅（四号建築物）を対象とした設計方法について、現在の普及の状況に鑑み従来の方法の他に簡素化した方法を追記しました。
- ◆6. 施工品質管理に関しては、従来より容易でないとされてきたサンプリングに関して、実際に利用可能な施工品質管理方法の追記を行いました。また、室内配合試験では、推奨「すべきモールド」への改良土の詰め方などを示しました。また、四号建築物を超えた小規模建築物全体を対象とした章を追記しました。
- ◆7. 第4編では高圧噴射攪拌式及び全層鉛直攪拌式による地盤改良工法について参考記述を行いました。
- ◆8. 地盤改良工法に含まれていない、セメントミルクと地盤とを攪拌混合する、既製杭工法の先端部分の根固め築造方法について基本的な考え方を示しました。
- ◆9. 設計例として代表的な事例の充実を図りました。
(格子状改良地盤、液状化地盤の設計例、擁壁基礎地盤や擁壁近傍での設計例等)

■「2018年版建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」の主な改訂のポイント

- ◆1. 設計指針では、浅層改良地盤及び深層改良地盤の許容応力度の定義を示し、建設省告示第1113号との対応を図りました。
- ◆2. 地盤調査結果の利用に関して、建築基準法等の技術解説書、2015年版建築物の構造関係技術基準解説書に準拠した方法による見直しを行いました。

主催 一般財団法人 日本建築センター、一般財団法人 ベターリビング

※本講習会は、(一社)日本建築構造技術者協会(JSCA)の建築構造士登録更新のための評価対象講習会(予定)です。詳細は、JSCAのHPを参照して下さい。

開催日	開催地	会場	定員
1 令和元年9月25日 (水)	仙台	フォレスト仙台/第2フォレストホール 宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45	80名
2 令和元年9月30日 (月)	福岡	リファレンス駅東ビル/V1会議室 福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目16-14	96名
3 令和元年10月2日 (水)	大阪	大阪府建築健保会館/6階ホール 大阪市中央区和泉町2-1-11	100名
4 令和元年10月16日 (水)	東京	CIVI研修センター日本橋/N5HALL 東京都中央区日本橋室町4-1-6	160名

時間	内容(予定)	講師
9:30 ~ 9:35	資料の確認等	「2018年版建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」編集委員
9:35 ~ 10:20	改訂内容・その他	
10:30 ~ 12:40	改良地盤の設計について(一般建物)	
12:40 ~ 13:40	昼休憩	
13:40 ~ 14:10	改良地盤の設計について(戸建て)	
14:10 ~ 15:10	改良地盤の施工について(一般建物)	
15:25 ~ 16:05	改良地盤の施工について(戸建て)	
16:05 ~ 17:00	設計例題について	

※都合により、講師・プログラム内容等が変更になる場合があります。昼休憩以外の休憩時間が含まれています。

受講料(税込・10月以降開催分は消費税10%)			備考	
仙台・福岡	一般	テキスト込み	23,800 円	<テキスト> 書籍名: 2018年版建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針—セメント系固化材を用いた深層・浅層混合処理工法— 監修: 国土交通省国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人建築研究所 発行: (一財)日本建築センター、(一財)ベターリビング
		テキスト持参	13,000 円	
	情報交流会正会員	テキスト込み	21,420 円	
		テキスト持参	11,700 円	
大阪・東京	一般	テキスト込み	24,200 円	
		テキスト持参	13,200 円	
	情報交流会正会員	テキスト込み	21,800 円	
		テキスト持参	11,900 円	

※10月以降に予定されている消費税率の変更に伴い、講習日に応じて受講料が変動いたします。予めご了承くださいませようお願い致します。

※テキスト込みで申し込まれた方には、講習会当日にお渡します。裏面のご入金方法をご確認の上、お申し込み下さい。

▲▲講習会申込書▲▲FAX : 03-5281-2828

改良地盤+20190725(裏)

お申し込み手順・ご注意

1	「本申込書のFAX」又は「BCJ Webサイト : http://www.bcj.or.jp 」によりお申し込み下さい。定員に達し次第、受付を終了致します。	3	「複数の請求にかかる代金を一括してご入金される場合」や「申込内容を訂正される場合」は、事前に下記問合せ先にご連絡下さい。入金確認後に【参加証】をFAXで送付致しますので、当日受付にご提出下さい。
2	【請求書】は集金代行会社が発行・郵送致しますが、10月に予定されております消費税率の変更に伴い、送付が遅れる場合があります。誠に申し訳ありませんが、予めご了承ください。「1申し込みにつき1枚」発行しますので、請求書記載の期限内にお支払いをお願いします。	4	主催者側の都合により講習会が中止となった場合は、受講料を払い戻します(振込手数料は主催者が負担)。それ以外の理由による入金後のキャンセル、変更及び払い戻しは致しません。

◆問い合わせ先◆ 一般財団法人日本建築センター情報事業部 TEL : 03-5283-0477

「改訂-2018年版建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針-セメント系固化材を用いた深層・浅層混合処理工法-」講習会

参加会場をお選び下さい (○印をご記入下さい) ▼		▼決済方法をお選び下さい (○印をご記入下さい) ▼		
1	令和元年 9月25日 (水) 仙台	銀行振込 <small>振込手数料お客様負担</small>	コンビニ決済 <small>振込手数料不要</small>	ゆうちょ振替 <small>振込手数料不要</small>
2	令和元年 9月30日 (月) 福岡	銀行振込 <small>振込手数料お客様負担</small>	コンビニ決済 <small>振込手数料不要</small>	ゆうちょ振替 <small>振込手数料不要</small>
3	令和元年10月2日 (水) 大阪	銀行振込 <small>振込手数料お客様負担</small>	コンビニ決済 <small>振込手数料不要</small>	ゆうちょ振替 <small>振込手数料不要</small>
4	令和元年10月16日 (水) 東京	銀行振込 <small>振込手数料お客様負担</small>	コンビニ決済 <small>振込手数料不要</small>	ゆうちょ振替 <small>振込手数料不要</small>

受講料 (税込・10月以降開催分は消費税10%)		▼該当する金額欄に○印を記入して下さい	
仙台 福岡	一般	テキスト込み	23,800 円
		テキスト持参	13,000 円
大阪 東京	情報交流会 正会員	テキスト込み	21,420 円
		テキスト持参	11,700 円
大阪 東京	一般	テキスト込み	24,200 円
		テキスト持参	13,200 円
大阪 東京	情報交流会 正会員	テキスト込み	21,800 円
		テキスト持参	11,900 円

テキスト：2018年版建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針-セメント系固化材を用いた深層・浅層混合処理工法-
●テキストについて
・テキスト込みでお申し込みをされた方には、当日お渡しします。テキスト持参の場合は、必ずご持参下さい。
●上記「お申し込み手順・ご注意」をご一読下さい

参加者氏名 (フリガナ)	情報交流会 正会員番号	(正会員の方で料金の割引(正会員価格の適用)をご希望の方は、必ずご記入下さい。ご記入がない場合は、割引になりません。)
勤務先名 (請求書宛名)	E - 部署名・役職名	
請求書送付先 (〒 都道府県)	申込担当者氏名 (参加者と同じ場合は記入不要です)	
電話番号 (勤務先等の目録に連絡がとれる番号をご記入下さい)	FAX番号 (こちらに参加証をお送りします)	

参加者情報

◆業種について、該当する番号を○印で囲んで下さい
1. 建設業 2. 設計事務所 3. 指定確認検査機関 4. 行政庁 5. 不動産業 6. 住宅メーカー・工務店 7. その他

◆担当業務について、該当する番号を○印で囲んで下さい
1. 意匠 2. 構造 3. 設備 4. その他

◆業務対象建築物の構造種別 (主なもの) について、該当する番号を○印で囲んで下さい
1. RC造 2. S造 3. 木造 4. その他

◆担当業務経験年数について、該当する番号を○印で囲んで下さい
1. 1年未満 2. 1年以上2年未満 3. 2年以上5年未満 4. 5年以上10年未満 5. 10年以上20年未満 6. 20年以上

◆建築関連資格について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. 一級建築士 2. 二級建築士 3. 木造建築士
4. 構造設計一級建築士 5. 設備設計一級建築士 6. 建築設備士 7. 該当なし

◆講習内容に関する予備知識・経験について、該当する番号を○印で囲んで下さい
1. 初心者 2. 内容は概ね理解している 3. 業務等で使用している

◆受講理由について、該当する番号を○印で囲んで下さい
1. 知識を深めるため 2. 会社の指示・社外研修 3. その他

個人情報について

お預かりした個人情報は、本講習会の受付、運営及び当財団のサービスに関する情報提供のために使用するとともに、個人情報保護法に基づき、適正に管理致します。請求書発送等の業務を外部に委託することがありますが、委託先につきましては、適切な事業者を選定し、秘密保持、安全管理等についての契約を締結して、適切な監督を行います。